

「家政学原論」 東京家政学院大学 現代生活学部 現代家政学科 上村 協子

1. シラバス

授業科目名	家政学原論	単位数	2
開講年次	2年	学 期	後期
担当教員	上村協子 小池澄雄 石崎公子		
科目分類	現代家政学科 専門科目		
選択／必修	選択	授業形態	講義
授業の目標	現代家政学とは何か。なぜ現代家政学なのか。現代家政学は何ができるか。自分と家政学の関係から考える。創立者大江スミを中心に、東京家政学院大学の沿革および日本家政学の歴史的な展開や、総合家政の意義を理解する。生産消費者教育を軸に、持続可能な社会や家庭科教育に着目して、現代家政学に何ができるのか、自分の見解を図示する。		
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代日本社会と家政学 2. ①家政学とは何か②なぜ必要なのか③何ができるのかを考えよう 3. 家政学には何ができるか (1) 情報化社会 4. 家政学には何ができるか (2) アジアの潮流 5. 家政学には何ができるか (3) 東京家政学院の卒業成長値 6. 持続可能な社会の実現にむけた提案 7. 家政学の歴史 (1) 日本の家政学と東京家政学院の家政学 8. 家政学の歴史 (2) 戦前期の女子教育と家政学 9. 世界の家政学と日本の家政学 (1) アメリカとの比較 10. 世界の家政学と日本の家政学 (2) 家政学の再構築に向けて 11. 家政学の社会貢献 (1) 家庭科教育 12. 家政学の社会貢献 (2) 消費者教育 13. 家政学の社会貢献 (3) 生産消費者教育 14. 家政学の社会貢献 (4) 日本家政学会と国際家政学会 15. 生活再生と家政学 16. 筆記試験 		
テキスト	<p>東京家政学院大学において作成した報告書</p> <p>2006年・2007年 現代家政学の挑戦 ―生活主体形成のための金融教育ライフマネジメントプログラム―</p> <p>2008年・2009年 現代家政学視点による消費者教育の体系化</p> <p>2010年 大学における消費者教育を考える―生産消費者の育成―</p> <p>http://home.u01.itscom.net/uemura/index.html</p>		
参考文献	<p>亀高京子監修『若手研究者が読む「家政学原論」2006』家政教育社(2006)</p> <p>亀高京子・仙波千代『家政学原論』光生館(1981)</p> <p>(社)日本家政学会編『新版 家政学事典』朝倉書店(2004)</p> <p>※その他の参考文献については、授業中に適宜紹介します。</p>		
評価方法・基準	授業時の参加、試験における家政のできることの図示より判定する。		

2. 授業の特徴や授業を行うにあたっての工夫

家政学とは何かを学生が図示したものを報告書などに掲載し、次の年度につたえられるよう工夫している。

